

くすのき

横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第5号 令和5年8月29日

熱い夏休み ~ 笑顔は副作用のない薬 ~

校長 廣淵徹志

全国各地で猛暑が続く中、今年の夏は西本中部活動と女子サッカーワールドカップの活躍、男子バレーボールネーションズリーグで銅メダルを獲得した日本選手の活躍等に大きな感動をもらいました。また、その他にも世界水泳や世界陸上、バスケットボールワールドカップ、秋にはラグビーワールドカップが開催され、多くの国民に感動を与えてくれることでしょう。

来年はフランスのパリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。そのような中、パラリンピックカヌーの瀬立モニカ選手がモットーにしている「笑顔は副作用のない薬」という言葉が心に響きました。

モニカ選手は体育の授業で倒立から前転をしようとして、バランスを崩して首から落ち、入院中に、脊髄損傷で一生歩けなくなるという宣告を受けました。今までの生活が一変して、自分自身は何も変わってないのに、車いすになったことで社会から取り残されているような気分になってしまったそうです。そのような時に母親からの「笑顔は副作用のない薬」という言葉に救われたと言っています。実際に競技生活において笑顔でいてよかったと思う瞬間は、海外選手と交流しているとき、ムスツとしていても会話は生まれません。ネットワークが広がると、自分の選手としての可能性も広がっていくような気がしますとの言葉も胸を打ちます。

彼女を見て、パラアスリートを「かわいそう」から「かっこいい」って思う人が増えたように、彼女はこれからももっともっと活躍して、若い世代を中心に、「共生社会」を考えるきっかけが増えればよいと考えているそうです。また、大学で体育学系の学部に通いながら今、大学と並行して医学部受験の予備校に通っています。それは自分が障がいを負った時に支えになってくれた病院の先生のように、誰かの支えになりたいと考えたからです。競技と勉強どちらもこなすことは難しいですが、「かっこいい！女性、パラアスリート、医者」を目指して頑張りたいものです。

最近、ふと思うのが、高校野球やインターハイ、世界選手権、ワールドカップ等を見ると試合後に選手の笑顔が多く見られるようになったことに気付かされました。生徒の皆さんも限られた環境の中で、準備をし、悔いなく笑顔で、夏の大会を終えることができたでしょうか？

市総合体育大会、県総合体育大会、そして文化部のコンクール、発表大会等、出来るだけ多くの部活動の試合やコンクール等に足を運び、一生懸命日頃の練習で培った自分たちの力を発揮しようと頑張る姿を見て感動しました。

**君たちは部活動で多くのものを学び、一回りも二回りも成長した。目に見えない財産です！
笑顔で今後の学校生活に活かしましょう！**

サッカー部 県大会出場！
選手・顧問・保護者等



かんだう

かいさい

ひび

いんちゆう

せきずいそんしゆう

せんこく

いっぺん

きぶん

ふくさよう

くすり

しゅんかん

きょうぎ

しゅんかん

すく

きょうぎ

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

きぶん

ふくさよう

くすり

しゅんかん

きょうぎ

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

しゅんかん

かとう

かいさい

ひび

いんちゆう

せきずいそんしゆう

せんこく

いっぺん

きぶん

ふくさよう

くすり

しゅんかん

きょうぎ

しゅんかん

かわいそう

かっこいい

共生社会

大学

予備校

障がい

支え

先生

支え

競技

勉強

女性

パラアスリート

最近

ふと思う

高校野球

インターハイ

世界選手権

ワールドカップ

試合後

選手の笑顔

多く見られる

ようになった

ことに気付か

されました

生徒の皆さんも

限られた

環境の中で

準備をし

悔いなく

笑顔で

夏の大会を

終えることが

できたで

しょうか？

市総合体育

大会

県総合体育

大会

そして文化

部のコンク

ール

発表大会

等

出来るだけ

多くの部活

動の試合

やコンク

ール等に

足を運び

一生懸命

日頃の練

習で培

った自分

たちの力

を発

揮しようと

頑張る姿

を見て感

動しま

した。

君たちは

部活動で

多くの物

を学び

一回りも

二回りも

成長した

。目に見

えない財

産です！

笑顔で

今後の学

校生活に

活かしま

しょう！

西本中の部活動結果



祝 水泳競技部 徳永結哉さん 関東大会出場

男子 200m平泳ぎ 2' 29" 96

男子 100m平泳ぎ 1' 10" 46

東京都

祝 陸上競技部 鈴木 桃さん 神奈川県選抜陸上競技大会 第7位

女子四種競技 2080 点

祝 サッカー部 神奈川県総合体育大会出場 ベスト 16

西本郷中 1回戦 1 - 1 相模原市立大野南中

PK 7 - 6

2回戦 1 - 2 海老名市立今泉中



祝 卓球部 山之内煌さん (ベスト 16) 沖原聡祐さん

神奈川県総合体育大会出場

祝 男子ソフトテニス部 神奈川県総合体育大会出場

男子個人戦 日力郁哉・伊藤悠真ペア 1回戦 2 - 4



祝 吹奏楽部 第72回神奈川県吹奏楽コンクール 銀賞!



7月28日(金)神奈川県民ホールにおいて、第24回横浜吹奏楽コンクールA部門が開催され、本校の吹奏楽部が見事、金賞を獲得しました。

当日、課題曲『レトロ』と自由曲『歌劇「イーゴリ公」より ポーロヴェツの娘達の踊り、ポーロヴェツ人の踊りと合唱』を見事な演奏で、感動を与えてくれました。

また、8月8日(火)横須賀芸術劇場において、第72回神奈川県吹奏楽コンクールに進出し、横浜地区大会以上の素晴らしい演奏を響かせ、多くの入場者に西本郷中吹奏楽部の魅力を感じてもらったと思います。50人以下の編成A部門に出場し、32人という少なさにもかかわらず、一

つの目標に向かって、全員がたゆまぬ努力と一つの曲を創り上げようと協力してきた「銀賞」に拍手を贈りたいと思います。



吹奏楽コンクールの「A部門」と「B部門」の違い

「A部門」 : 全日本吹奏楽コンクールにつながる! 課題曲と自由曲の2曲を12分以内で演奏。50人以下の編成

「B部門」 : 東日本吹奏楽大会につながる! 自由曲のみを7分以内で演奏 30人以下の編成

第32回 横浜市中学校演劇発表会中部地区大会 演劇部 優秀賞!

7月27・28日に泉公会堂において第32回横浜市中学校演劇発表会中部地区大会が開催されました。

本校演劇部は、題名『厄介な紙切れ』(大島昭彦 作)という劇を演じました。

放課後、教室でテスト勉強をする各グループ。翌日のテストの復習プリントをもらいにいった生徒。そこに今年のテスト問題が混ざっていた。そのテスト用紙に翻弄される8人の物語。そこに生徒達の真の姿が見えてくる。素晴らしい内容で優秀賞を獲得しました。



囲碁部



横浜市中学校囲碁選手権大会 第3位

(石川鈴・今田智久・豊島彩愛)

— 神奈川県中学校総合体育大会 結果 —

陸上競技部 神奈川県選抜陸上競技大会 鈴木 桃さん 四種競技 第7位 2080点
 神奈川県通信陸上競技大会 小松 優衣さん 100mH 16" 22 (自己ベスト)

卓球部 男子個人 山之内煌さん (市総体 第2位)

1回戦 3-0 伊勢原中 (県央地区) 2回戦 3-0 大野北中 (相模原地区)
 3回戦 3-0 寒川中 (県央地区) 4回戦 0-3 岩崎中 (横浜地区)

男子個人 沖原聡祐さん (市総体 ベスト32)

1回戦 2-3 平塚中等中 (県央地区)



水泳競技部 武田 天音さん 100m自由形 1' 02" 73 第5位

全国関東中学校水泳競技大会 神奈川県予選会

徳永 結哉さん 200m平泳ぎ 第3位 100m平泳ぎ 第7位 (関東大会出場)
 武田 天音さん 100m自由形 出場 50m自由形 出場
 武田 美空さん 100m自由形 出場 100m背泳ぎ 出場

— 横浜市総合体育大会 結果 —

サッカー部

横浜市総合体育大会

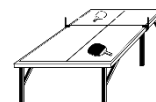
第12位

3回戦 2-1 瀬谷中 4回戦 2-0 六浦中
 5回戦 0-1 十日市場中 県代表決 2-1 すずき野中

男子卓球部

男子団体決勝トーナメント 横浜市総合体育大会

1回戦 2-3 サレジオ学院中



女子卓球部

女子団体決勝トーナメント 横浜市総合体育大会

1回戦 2-3 南が丘中

男子バスケットボール部

1回戦 151-19 並木中 2回戦 55-60 舞岡中

女子バスケットボール部

2回戦 94-21 日野南中 3回戦 20-92 金沢中

野球部 (上郷中との合同)

2回戦 1-2 共進中

男子ソフトテニス部

2回戦 2-1 原中 3回戦 1-2 東山田中

女子ソフトテニス部

1回戦 1-2 六浦中

女子剣道部

第6ブロック予選 ベスト8
 女子団体決勝トーナメント

区大会 優勝

1回戦 0-1 山手学院中

水泳競技部

徳永 結哉さん 200m平泳ぎ 2' 27" 68 第1位
 武田 美空さん 100m背泳ぎ 第4位
 武田 天音さん 100m自由形 第7位

～保護者・地域の皆様、ご声援・ご協力ありがとうございました!～

横浜市中学校英語弁論大会予選会

7月26日(水)「横浜市中学校英語弁論大会予選会」が実施され、本校からは学校代表として「鈴木 桃さん」(3-3)が参加しました。その素晴らしいスピーチ原稿を掲載します。



The reason I can run

私が走り続ける理由

Nishihongo Junior High School

Momo Suzuki 鈴木 桃

My name is Momo Suzuki. I am a runner. I am a member of the track and field club. I started in first grade. Since then I have always wanted to be the fastest, just like my senior who inspired me. I want to be like her. A good leader and a fast runner. So I thought how can I become a good leader? In second grade; I started to write practice notes, I made the training diary practice schedule for the club and gave my advice to younger members. Day by day I started to feel like I was becoming the leader I have always wanted to be, as a runner I was growing in confidence.

Now in third grade I wanted to run in the Kanagawa prefecture tournament. I continued to train. Then one day when I was practicing hurdles, I fell and broke my right foot. I couldn't run anymore. I was shocked and worried. How can I be the fastest runner if I can't even run? How can I be a leader if I can't join my teammates? Then I realized my foot may be broken but I would not be so fragile. I would not give up. While I was injured I continued to practice. I would do stretches at home. It was not easy. I became anxious I could not heal and felt negative because I could not run. But I was not alone. My friends, coaches and family encouraged me to carry on. My coach gave me special exercises and I slowly improved. My friends gave me advice and I listened to them. My mother woke up early and made lunch for me. I was glad and eventually, I could run again.

Finally I could run and I was able to win in the Kanagawa prefecture tournament. It was thanks to the people who supported me. I thanked everyone. To be a good leader and a fast runner it was not only thanks to the things I did each day but also thanks to the people who supported me. So don't forget to look around you and show thanks to the people who help you and support you. For me these people are the reason I can run. Thank you.

陸上競技部の活動に熱心に取り組んでいた私は、思わぬケガで走れない時期がありました。そのケガを通して感じたこと、学んだこと、そしてそこから生まれた感謝の気持ち。その思いとともに、今また走っています。



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 栄区大会

6月29日(木)「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト栄区審査会」が実施され、本校からは学校代表として「水谷春音さん」(3-1)が参加しました。その素晴らしいスピーチを掲載します。

～ 大根の葉をイメージして ～

西本郷中学校 水谷春音

「大根のヘタから葉が生えてきている。」一週間前、料理して出た大根のヘタを水に浮かべると、ある日大根のヘタから新しい葉が生えてきました。人参やキャベツの芯からも。普段は捨てる野菜のヘタからまた葉が生えてくることを目の当たりにして、私はとても衝撃的でした。私はまた再生して食べることができる野菜の生命を今まで知らずに捨ててしまっていたのです。何てもったいないことをしていたのでしょうか。私はそれ以来料理をすると、この野菜くずはまだ生きているのかも、青々とした葉がまた生えてくるかもとイメージするようになりました。

今世界では8億2800万人の人達が飢餓に苦しんでいます。これは世界の人口の9人に一人に当たります。私のクラスは33人いますが、その中の4人のクラスメイトが食事を摂ることができず、苦しんでいることとなります。もし私がその4人の中の一人だったら、お腹がすいて勉強も部活もやる気が出ず、友達と話す元気もなく、笑うことも忘れてしまうと思います。食事を摂るということは単に体の健康だけでなく、その人の生活の全てに関係していると思います。飢餓をゼロに近づければ健康はもちろん、人々の心も満たされ飢餓の問題だけではなく、教育や社会開発にも好影響を与え、SDGs全体の達成に近づけるのではないのでしょうか。SDGsの取組はまず人々の心と体の健康からであると思います。では、どうやったら飢餓を減らせるのでしょうか。

私は昨年家庭科の授業でどうすれば環境に優しい料理を作ることができるのかを学びました。その授業を通して、野菜の皮は捨てずに料理に使ったり、出汁を取った昆布を煮物に再利用できることを知り日常の生活に活かすようになりました。しかし、こんなことで食品ロスをなくせるのだろうかと思っていました。ですが、野菜くずの再利用のように先をイメージすることで考え方が変わりました。野菜くずを美味しく食べると生ゴミが減り、ゴミを燃やすエネルギーも減らせます。また、お店で賞味期限が近いものから買えば破棄する食品を減らせます。

私たち中学生が今すぐ「世界の飢餓をゼロにする」のは難しいです。しかし、一人ひとりが自分ができる小さな行動を確実に行えば、世界は少しずつ変わるのではないのでしょうか。私は、「自分が何かをやっても変わらない」と思うのではなく、困っている人をイメージして、変わっていく地球をイメージして行動したいです。大根のヘタがまた青々とした葉を生やすように、心が弾むような地球の明日をイメージして。

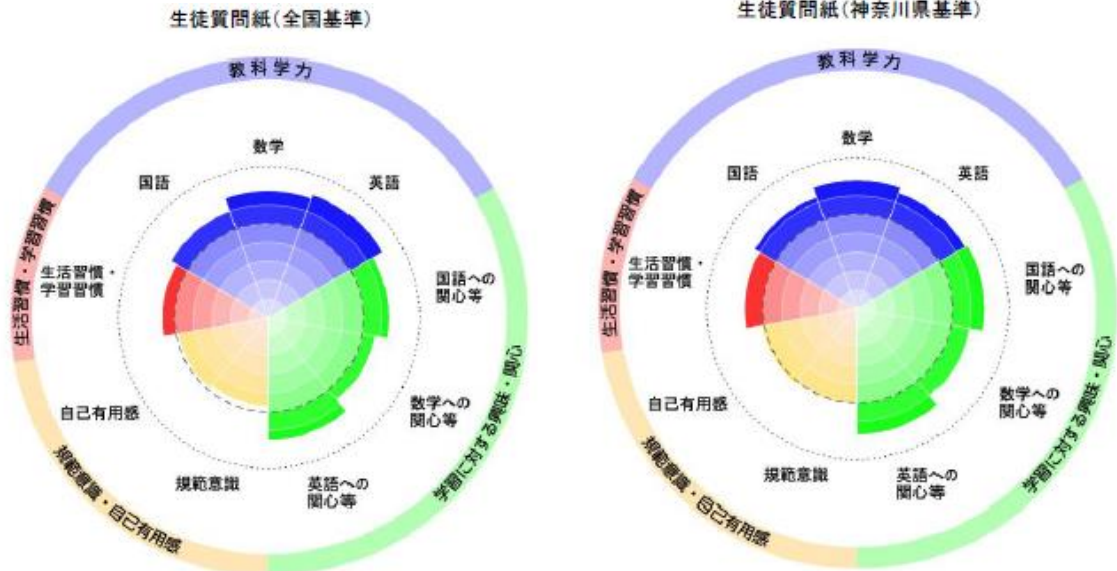
令和5年度 全国学力・学習状況調査

西本郷中学校の結果と分析

1. 平均正答率(%)

	国語	数学	英語
横浜市立西本郷中学校	77	66	63
神奈川県(公立)	70	52	50
全国(公立)	69.8	51	45.6

2. 生徒質問紙による意識調査



3. 分析

①学力について

国語	全国・神奈川の平均よりも高い正答率であった。特に「思考・判断」を問う問題に関する正答率が高かった。一方、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したり、正しい漢字を書いたりする問題に関しては全国平均を下回った。言葉の特徴を捉えたり、歴史的な言語文化に触れたりする機会を増やしたい。
数学	「知識・技能」は68%の正答率、「思考・判断・表現」は61%の正答率であった。また「図形」に関する正答率が5割を切り47.1%であった。演習問題を通して基礎基本を定着させながら、自ら考え、適切かどうかを判断し、実社会で自らの考えを表現する力を、授業を通して伸ばしていきたい。
英語	全国、神奈川の平均よりも高い正答率だった。その中でも「知識・技能」を問う問題に対しては正答率が高かった。領域別では、聞くことの正答率が最も高く、読むこと、書くこと、話すこと、と続いた。自分の考えなどを整理し、まとまりのある英文が書けるように、考えを整理してまとまった意見を英語で話せるように、授業でも引き続き努めたい。

②規範意識・自己有用感・学習習慣・生活習慣について

規範意識	昨年度、全国・神奈川の平均を下回っていた「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目は、今年度若干上回っている結果となった。「人が困っているときは、進んで助けていますか」の項目については、依然として全国・神奈川の平均を下回っていた。道徳の時間、キャリア教育などを通して、規範意識の向上につながる授業を実践していきたい。
自己有用感	「自分には、よいところがあると思いますか」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」、の2項目について今年度は、全国・神奈川の平均より上回っている結果になっていた。「将来の夢や目標を持っていますか」については、昨年同様全国・神奈川の平均を下回っていた。日常的な学校生活をはじめ、道徳の時間などを通してさらに、自己有用感を高めていきたい。また、教員も生徒一人ひとりの個性を理解し、認め合い、高めていきたい。

お知らせ

2学期始業式 8月28日(月)

1. 教育相談週間 8月28日(月)～9月5日(火)
2. 栄区横浜こども会議 8月31日(木)
3. 総合防災訓練 9月1日(金)
4. 授業参観、学級懇談会・2年生保護者対象進路説明会 9月12日(火)
5. 小中一貫授業研究・研修会 9月15日(金)
6. 区個別支援学級合同宿泊学習 9月18・19日 野島青少年研修センター
7. 2学期中間テスト 9月21・22日
8. PTA親の学び 9月22日(金) 10:00～12:00
9. 3年生英語検定 9月29日(金) 午後